

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和元年度

市町村名	三芳町					
提案事業名	MIYOSHIオリンピックアード推進事業					
事業期間	30年度 ~ 30年度					
成果指標	(成果を検証する指標) オリンピック・パラリンピックに関心をもつ町民の割合					
	(成果検証の具体的な方法) 住民意識調査での検証を行う					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (30年3月時点)	-	目標値 (31年3月時点)	70.00%	実績値 (1年6月時点)	81.58%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		町ホームページにて公表予定				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成 年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① オリンピックキャンプ誘致事業	◎ △ ×	平成30年4月、オランダ（女子柔道チーム）を相手国とするホストタウンに認定され、平成30年12月にオランダ女子柔道チームを町に招待、淑徳大学にてトレーニングキャンプを実施した。町が一体となってホストタウンとしての取組みを実施することができた。
② マレーシア交流事業	◎ △ ×	文化や伝統を互いに感じ、理解するため、PJフォーカスフェスティバルに参加するとともに、国際的な感覚を身につけることを目的に中学生派遣事業や教師の交流となるリーダーシッププログラムへの参加を実現することができた。
③ オリンピック機運醸成事業	◎ △ ×	平成30年10月の淑徳大学祭、平成30年11月の町産業祭にてオランダの文化やオリンピックに関する展示ブース出展し、オランダのホストタウンをPRした。また、サポーターの募集も行い、機運醸成を図った。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	トレーニングキャンプに合わせ、オランダウィークと題し交流会や講演会、オリンピックアード給食を実施した。各種交流による認知の高まりとともに、個人サポーター、団体サポーターを集い、町が一体となってホストタウンとしての取組みを実施していくことができ、スポーツ・オリンピックへの意識高揚が図れた。
実施事業について 成果が不十分である点	マレーシアとの取組については、文化・教育分野をはじめとした交流を図ったが、今後は、東京オリンピック・パラリンピックにおけるマレーシアのホストタウン決定等に向けた誘致活動も進めていく。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	聖火リレーの実施地にも選定いただいたので、このようなイベントも絡めながら、より一層の機運向上に努める。